



# 当社事業の現況等について

---

2017年11月

新関西国際空港株式会社

# 1-1. 当社の概要



設立日	2012年4月1日
株主	国土交通大臣(92%)、財務大臣(8%) <b>※国100%出資法人</b>
根拠法	関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する法律
管理空港	関西国際空港、大阪国際空港(伊丹空港) <b>※我が国唯一の複数空港を管理する株式会社</b>
政府との関係	関西空港を国際拠点空港として強化を図り、我が国の国際競争力強化、及び関西経済の活性化に寄与することを目的とし、目的達成に向けた必要な措置を確実かつ円滑に実施することを、 <b>国の責務として根拠法に明記</b> (根拠法第4条)。 <ul style="list-style-type: none"><li>・事業計画の認可</li><li>・社債発行、長期借入金に関する認可</li><li>・政府保証の付与 等</li></ul>



# 1-2. 関西国際空港の概要

## 1. 主な特長

- ①我が国で唯一世界標準の「4,000m級複数滑走路＋完全24時間運用」を併せ持つ国際拠点空港
- ②自然環境の保全に配慮した海上空港
- ③国際線と国内線の乗り換えが同一の建物内で可能

## 2. 開港日

1994年(平成6年)9月4日

## 3. 航空旅客数(2016年度)

約2,572万人

国際:約1,915万人

国内:約 657万人

## 4. 発着回数(2016年度)

約 17.8万回

国際:約13.0万回

国内:約 4.8万回

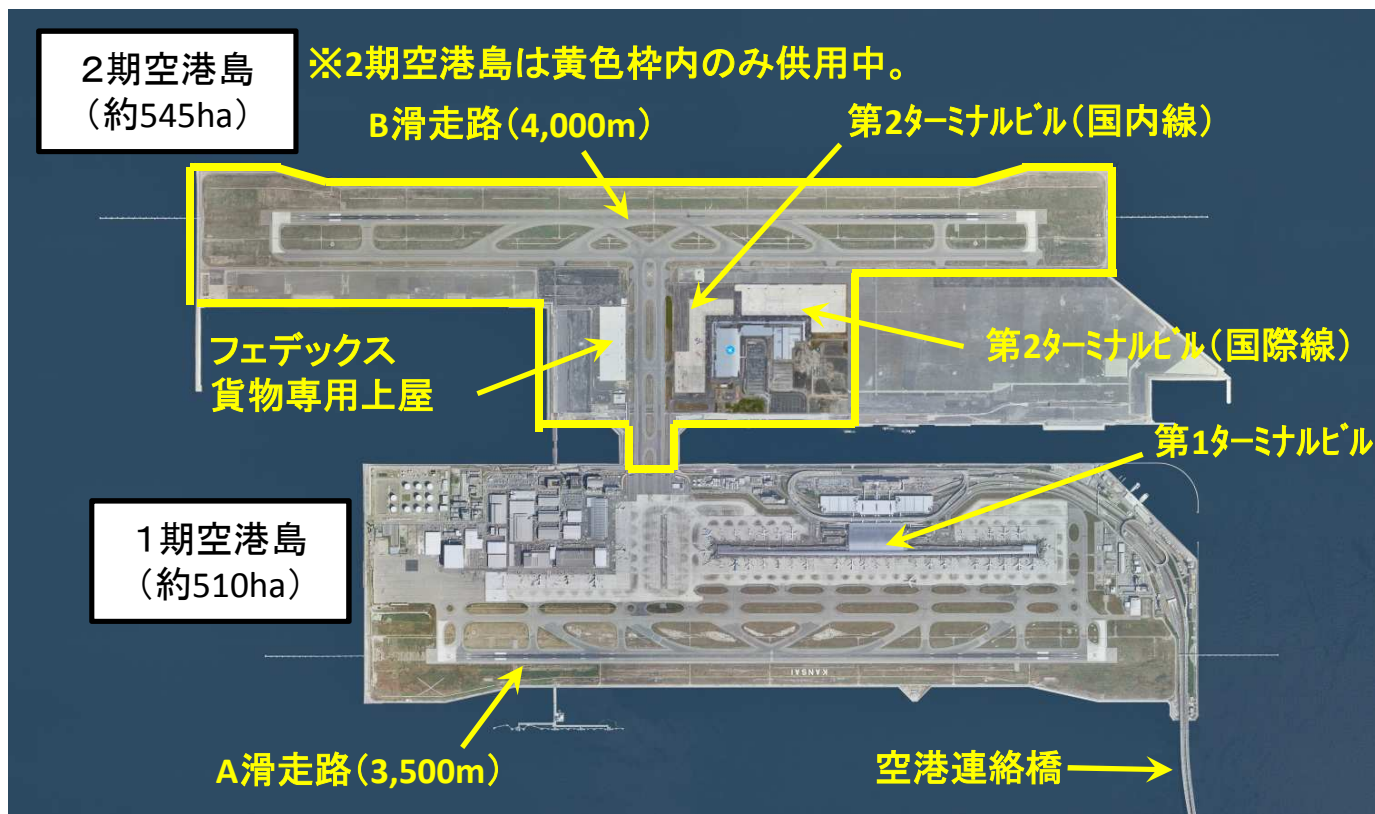
## 5. 主な経緯

1994年 9月: 関西国際空港開港

2007年 8月: 第2滑走路オープン、2期限定供用開始

2012年10月: 第2ターミナルビル(国内線) 供用開始

2017年 1月: 第2ターミナルビル(国際線) 供用開始



# 1-3. 大阪国際空港(伊丹空港[国内線専用])の概要



## 1. 主な特長

- ①関西圏の人口集積地に近い都市型空港
- ②大阪都心部への高いアクセス利便性

## 2. 開港日

1939年(昭和14年)1月17日

## 3. 運用時間・発着回数

7時～21時(14時間)

1日370回を上限

## 4. 航空旅客数(2016年度)

約1,510万人(国内線のみ)

## 5. 発着回数(2016年度)

約13.9万回(国内線のみ)

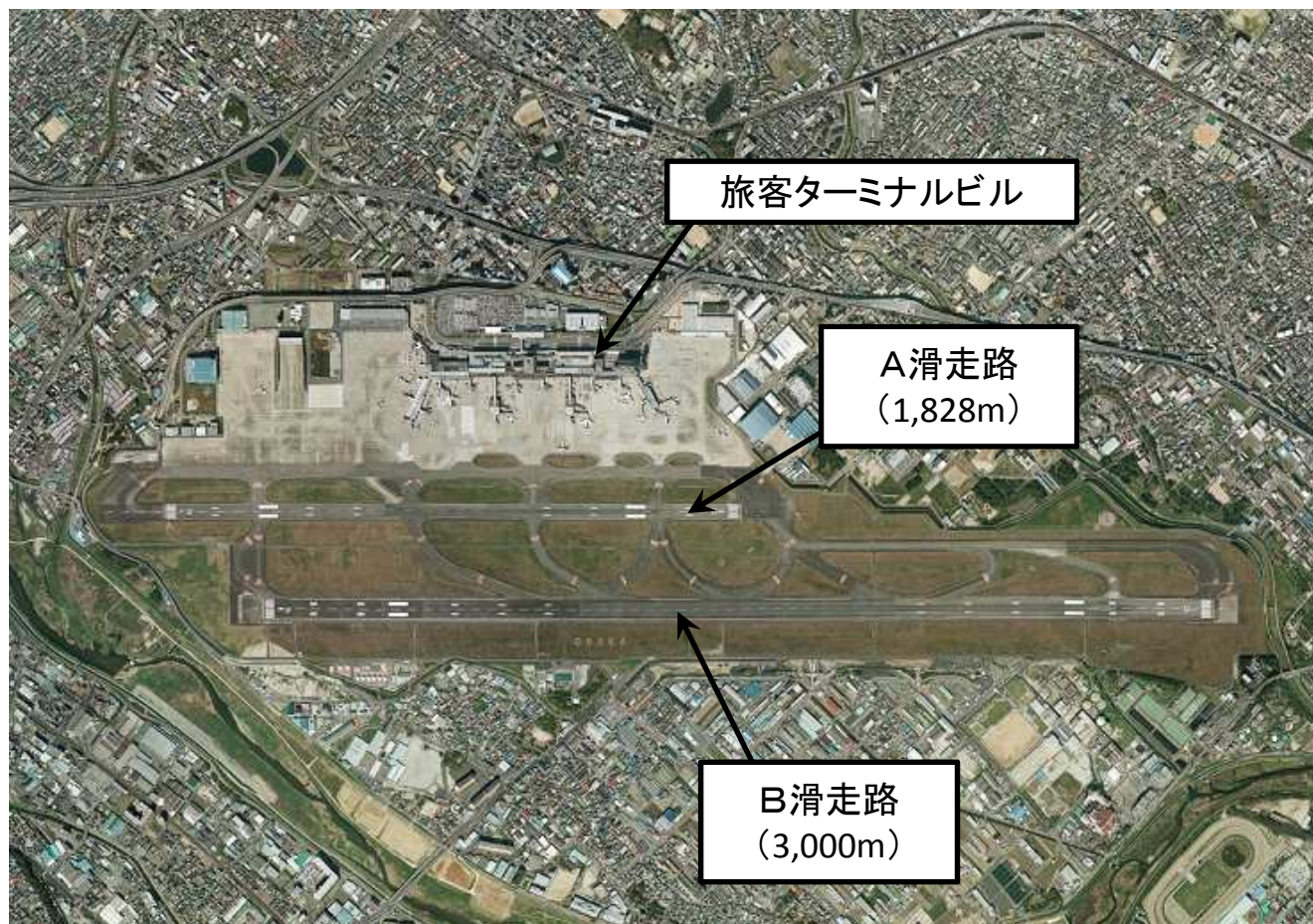
## 6. 主な経緯

1969年

ターミナルビル供用開始

1970年

B滑走路供用開始



## 2-1. 空港運営の概況

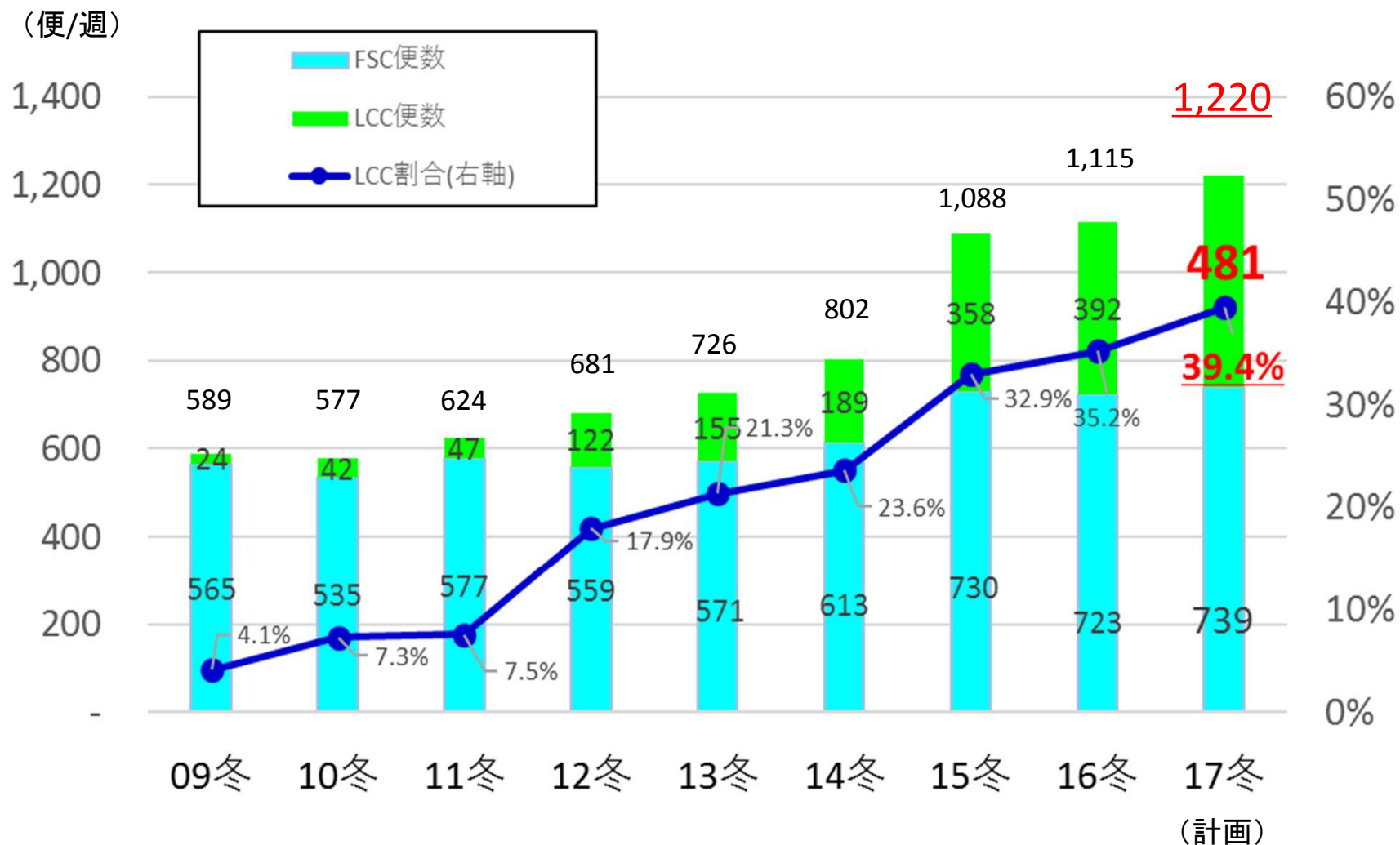


	関西国際空港				大阪国際空港(伊丹)			
	2014年度	2015年度	2016年度	前年比	2014年度	2015年度	2016年度	前年比
航空機発着回数(万回)	14.5	16.9	<u>17.8</u>	105%	13.9	14.0	13.9	99%
国際線	9.5	11.9	<u>13.0</u>	109%	—	—	—	—
旅客便	7.9	10.4	<u>11.4</u>	110%	—	—	—	—
貨物便	1.4	1.4	<u>1.4</u>	100%	—	—	—	—
その他	0.1	0.2	<u>0.2</u>	119%	—	—	—	—
国内線	5.0	5.0	4.8	97%	13.9	14.0	13.9	99%
航空旅客数(万人)	2,005	2,406	<u>2,572</u>	107%	1,462	1,463	1,510	103%
国際線	1,352	1,728	<u>1,915</u>	111%	—	—	—	—
日本人旅客	630	610	651	107%	—	—	—	—
外国人旅客	699	1,100	<u>1,243</u>	113%	—	—	—	—
通過旅客	23	18	22	123%	—	—	—	—
国内線	653	678	657	97%	1,462	1,463	1,510	103%
貨物量(万トン)	74.1	70.0	75.3	108%	13.3	13.2	13.4	102%

(注) 赤文字下線部は、開港以来最高値。



## 2-2. 関西空港国際線旅客便数の推移(LCCの動き)



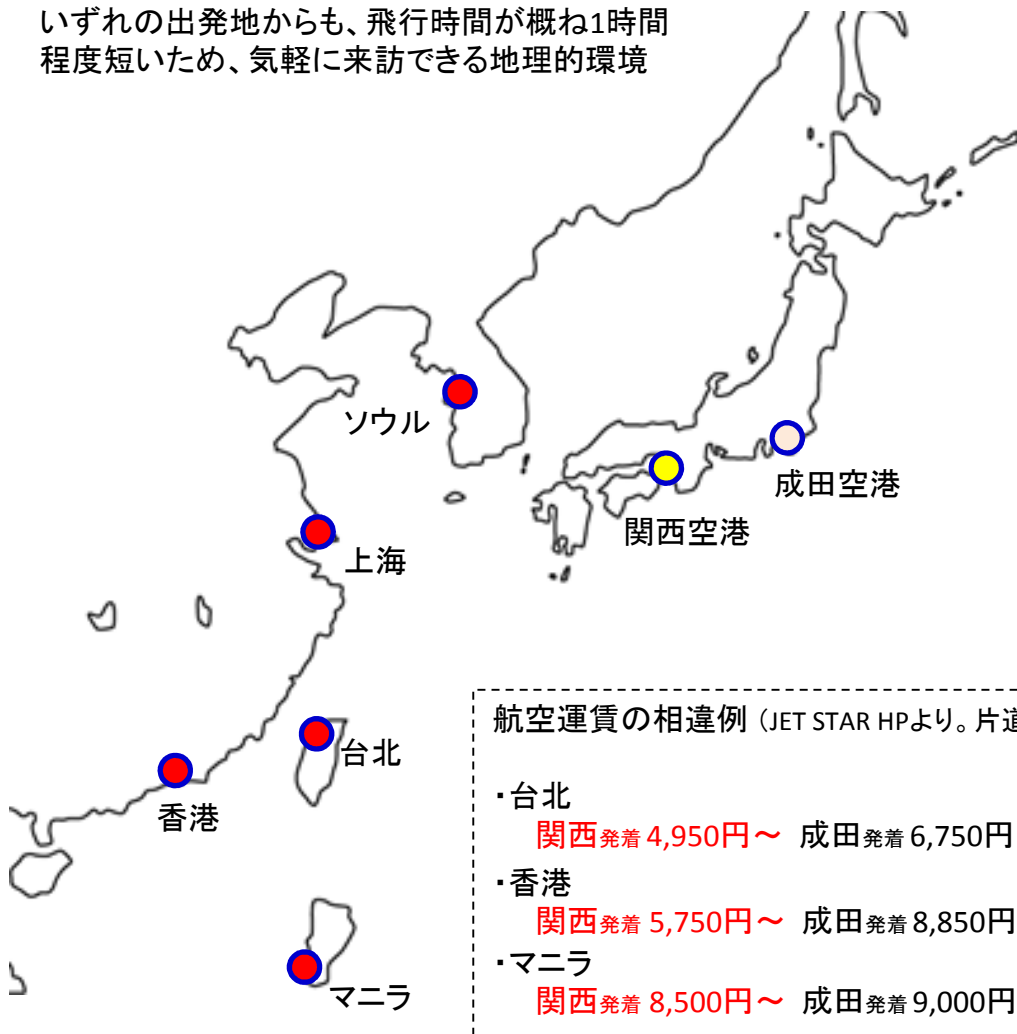
出典：関西エアポートHP

# 2-3. アジアからの旅行客に対するアドバンテージ

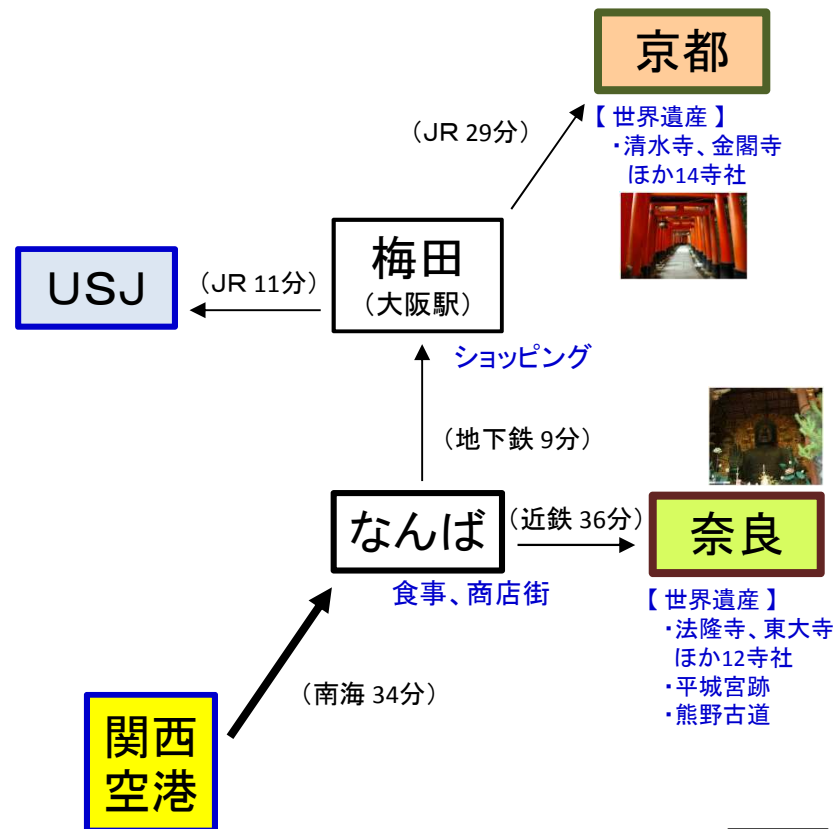


## ○ 関西国際空港は、首都圏空港と比較してアジアの主要都市から地理的に近い

いずれの出発地からも、飛行時間が概ね1時間程度短いため、気軽に来訪できる地理的環境



## ○ 短時間で人気スポットを周遊できる



# 3-1. 事業運営権の売却(コンセッション)の概要



## 1. 実施の背景 ~なぜ、コンセッションを実施するのか?~

関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する法律  
(2011. 5. 25 成立)

①コンセッションを通じた関空債務の早期かつ確実な返済



②関空の我が国の国際拠点空港としての機能の再生・強化

③関西における航空輸送需要の拡大による

我が国の国際競争力の強化・関西経済の活性化への寄与

## 2. コンセッションの概要

① 関西空港及び伊丹空港の運営権(2016年4月から44年間)を関西エアポート(株)(運営権者)へ売却し、  
その売却代金(運営権対価)により既存債務を返済

※ 関西エアポート(株) : オリックスとVINCI・Airport(フランス及び世界で合計35空港を運営)が設立したSPC

② コンセッション後は、運営権者が空港運営事業を実施(事業リスクが運営権者に移転)

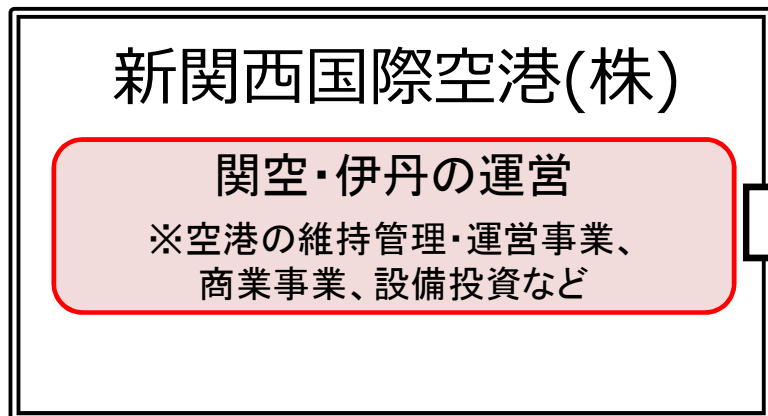
③ コンセッション後も、資産(空港用地・滑走路・ターミナルビル等)は当社が保有し、運営権者による空港運営の適切性を確保するためモニタリングを実施





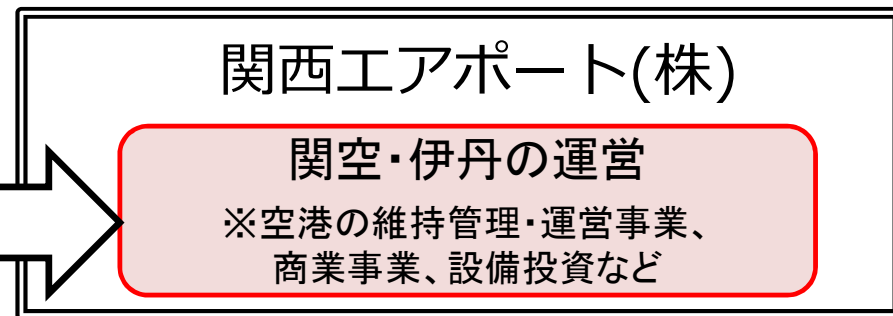
## 3-2. コンセッションの効果(償還原資の安定化)

### [ コンセッション前 ]



運営権売却

### [ コンセッション後 (現状) ]

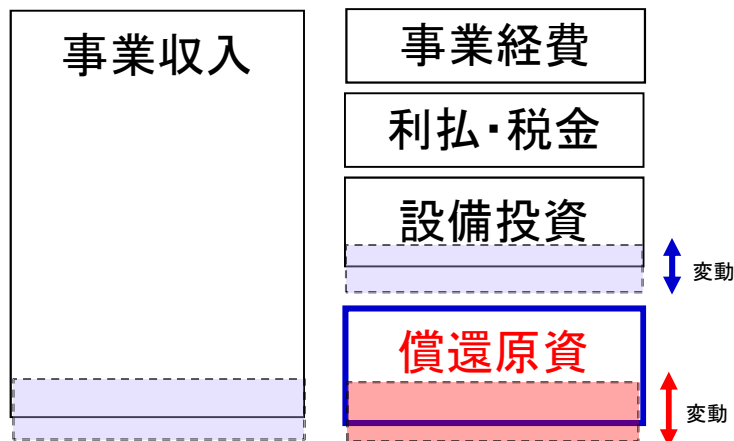


運営権対価等支払

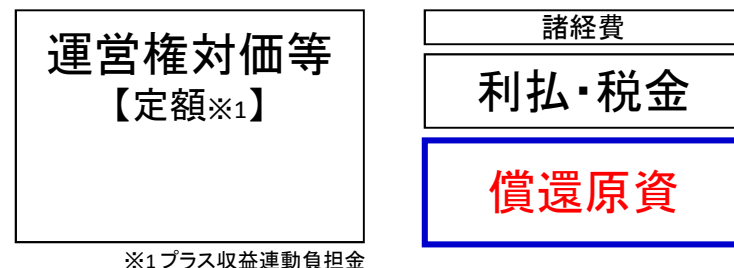
モニタリング



(償還原資のイメージ)



(償還原資のイメージ)



年によって償還原資に波が生じる

毎年同程度の償還原資を確保

# 3-3. コンセッション後における 当社債務の償還確実性に関する主なポイント



## 事業リスクは移転しつつ、 安定した収入を確保

償還原資が、空港事業収入(情勢変化で変動)から、関西エアポート(株)から**支払われる運営権対価(毎期一定額以上)**へ

⇒ 事業リスクの移転とともに、収入(償還原資)の**確実性・安定性**が向上

## モニタリングを通じた 空港運営状況の的確な把握

関西エアポート(株)に対して、**事業計画、業務報告、財務情報等に係る報告徴収を行うなどモニタリングを実施**

⇒ 空港運営状況を的確に把握  
(必要に応じ業務改善等について命令可。  
運営権解除も可能)

## 高い償還確実性

## 国策としての(法的根拠に基づく)コンセッションの実施と 国100%出資の形態を維持した当社の存続

関空伊丹統合法に基づく**国策としてのコンセッションの実施**であり、関空債務の早期・確実な返済や関空の国際拠点空港としての機能強化といった同法律の**目的達成に向け、必要な措置の確実かつ円滑な実施は「国の責務」**と明確に規定されている(第四条「国の責務」)

⇒ **当社は国100%出資という現形態のまま存続**  
**当社の国との距離感**はこれまでと変わるものではなく、自己での資金調達を引き続き実施

## 4-1. 経営成績(連結損益計算書)の概況



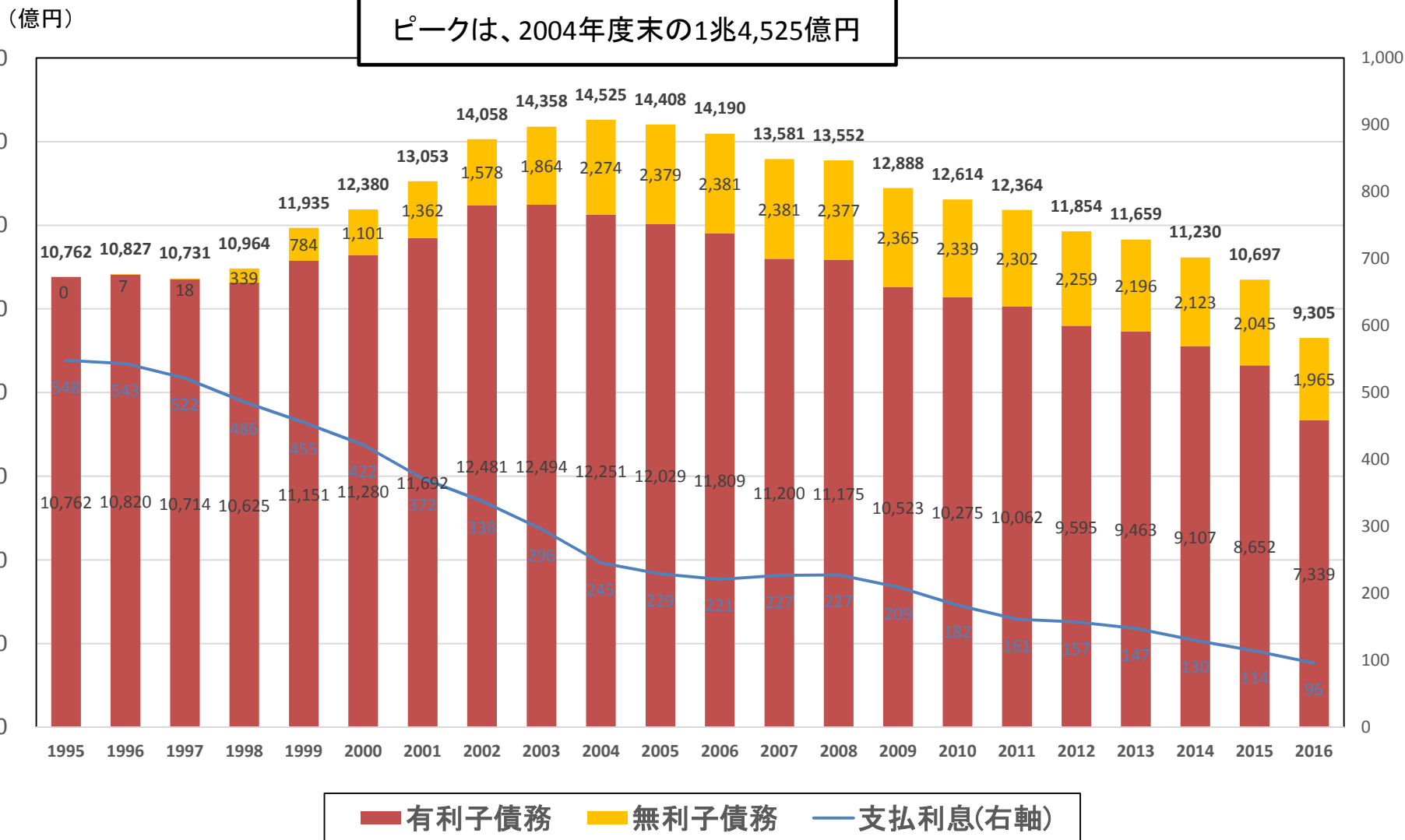
(単位：億円)	2015年度	2016年度	増減	前年比
営業収益	1,846	621	▲ 1,225	34%
営業費用	1,253	418	▲ 835	33%
営業利益	593	203	▲ 390	34%
経常利益	477	120	▲ 357	25%
親会社株主に帰属する 当期純利益	294	3	▲ 291	1%

## 4-2. 財政状態の概要(連結貸借対照表)



(単位：億円)	2015年度 期末	2016年度 期末	増減
流動資産	2,507	744	▲ 1,763
固定資産	19,161	18,767	▲ 394
資産合計	21,668	19,510	▲ 2,158
流動負債	1,776	1,562	▲ 214
固定負債	11,486	9,509	▲ 1,977
負債合計	13,263	11,071	▲ 2,192
株主資本	6,238	6,240	2
非支配株主持分他	2,167	2,199	32
純資産合計	8,405	8,439	34
負債・純資産合計	21,668	19,510	▲ 2,158

# 4-3. 債務残高の推移(連結)





# 5-1. 当社債の特徴・商品性

- 当社は財政投融資を活用している特殊法人であることから、当社が発行する社債は財投機関債として位置づけられているほか、当社債の特徴・商品性は以下のとおり。

## 1. 政府との強い一体性

- ・当社は、国の政策的必要性から、「関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する法律」に基づき設立された、国100%出資の法人。
- ・債券発行は国土交通大臣の認可が必要であり、国の管理下において発行を実施。

## 2. 一般担保の付与

- ・「関西国際空港及び大阪国際空港の一体的かつ効率的な設置及び管理に関する法律」に基づき、当社債には「一般担保」を付与。

## 3. 複数機関からの高格付の取得

- ・「JCR」、「R&I」、「ムーディーズ・ジャパン」という大手格付機関3社より、高格付を取得。(JCR:AA、R&I:AA-、ムーディーズ・ジャパン:A1) ※ 日銀適格担保要件も充足

## 5-2. 2017年度の資金調達予定額



区分	時期	金額(億円)
政府保証債(10年)	2017年8月	320 <sup>(※1)</sup>
財投機関債等 (2年~30年) <sup>(※2)</sup>	第3四半期 <sup>(※2)</sup>	300~350程度 <sup>(※2)</sup>

※1 国交省・財務省の認可等が必要

※2 財投機関債の年限・発行時期・金額は、市場の金利環境や弊社の資金繰り状況で変動